

令和 3 年度

京都市H I V感染症対策有識者会議
第 1 回ワーキング会議

日 時 令和 3 年 6 月 2 5 日（金）
午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 3 0 分

場 所 オンライン開催
（京都市役所分庁舎 第 7 会議室）

京都市保健福祉局
医療衛生推進室 医療衛生企画課

目 次

報 告

- 1 令和2年度京都市H I V感染症対策有識者会議について・・・・・・・・・・ 2
- 2 令和3年度のH I V検査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

議 題

- 令和3年度のH I V啓発キャンペーンについて・・・・・・・・・・ 4

報告

1 令和2年度H I V感染症対策有識者会議について

(1) 会議概要

日 時 令和3年3月19日（金）午後2時30分～午後3時30分

場 所 オンライン開催／京都市職員会館かもがわ 大多目的室

議 題 議題1 H I V／エイズの発生動向について

議題2 京都市エイズ対策基本方針に基づく取組内容について

議題3 次年度以降の京都市H I V感染症対策について

(2) 議事内容

<議題1及び2>

- ・ 20代の性感染症感染者が多い傾向にあり、若い世代への啓発が重要。コロナ禍において学校等での性教育活動が行えていない状況を踏まえ、SNSやインターネットでの啓発も必要。
- ・ 令和2年度に京都市が作成した啓発動画について、学校現場をはじめ広く周知する必要がある。また、続編として、治療や陽性後の生活について知ってもらえる内容の動画を作成することも有効。

<議題3>

（正しい知識とH I V陽性者の人権擁護のための普及啓発及び教育の推進について）

- ・ 啓発を行ううえで、マスメディアを効果的に活用するには、PRしやすい内容であることが重要である。
- ・ 基本的な知識の啓発を行うには、対象や事柄別に行うのが有効。
- ・ 外国人向けの相談窓口等の工夫も課題である。
（陽性者が安心して療養できる体制の整備について）
- ・ 京都府歯科医師会が令和3年4月からH I V協力歯科医院ネットワーク構築を再開。今後京都府及び京都市と協議しながら、体制整備を検討していく予定。

(3) 令和2年度H I V感染症対策有識者会議の総括

コロナ禍において、学校等での啓発の機会が少なくなっており、新たな形の啓発方法が求められる。また、本会議では京都市エイズ対策基本方針の4つの指針の中でも特に、正しい知識とH I V陽性者の人権擁護のための普及啓発及び教育の推進について意見が多く寄せられたこともあり、有効な啓発活動について、これまでと異なる手法で検討する必要がある。

2 令和3年度のH I V検査について

本市のH I V検査について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、3密回避等新しい生活スタイルに沿った検査体制を確保することが困難であることから、検査を縮減せざるを得ない状況であった。令和3年度は、コロナ流行下での市民の受検機会を確保すべく、以下のとおり医療機関（京都工場保健会）に委託して実施。

令和3年度の検査体制

	平日昼間		平日夜間		土日（従来どおり）	
受付時間	毎週 月曜日 (祝日除く)	午後2時～ 午後3時30分	月2回 月曜日 (祝日除く)	午後5時～ 午後6時30分	月2回	午後3時15分～
					土曜日	午後5時15分
					月2回	午後2時～
					日曜日	午後4時
場所	一般財団法人 京都工場保健会 (京都市中京区西ノ京北壺井町67番地)					
予約	京都工場保健会に直接電話にて予約					
検査項目	H I V（平日検査の場合は通常検査，土日検査の場合は即日検査） 性感染症（梅毒，淋菌，クラミジア） 性感染症は単体受検不可					
結果返却	H I V：平日検査の場合はおおむね2週間後，土日検査の場合は当日 性感染症検査：おおむね2週間後の検査日					
その他	無料・匿名検査					

議 題

令和３年度のＨＩＶ啓発キャンペーンについて

京都市エイズ対策基本方針では、「正しい知識とＨＩＶ陽性者の人権擁護のための普及啓発及び教育の推進」のため、関係機関等と連携し家庭、地域、学校、職場等あらゆる機会を捉えた啓発を行うことを指針の一つとしている。昨年度においては、検査普及週間及び世界エイズデーでの地下鉄広告や、エイズデーでの動画作成等を実施したが、より広く周知を行うために、令和３年度は市民に参加を募るキャンペーンを実施し、ＨＩＶ予防についてさまざまなコミュニティへ届く啓発活動を行う。

１ 現状と課題

平成３０年に内閣府が１８歳以上の全国民３，０００人を無作為に抽出し実施した「ＨＩＶ・エイズに関する世論調査」では、ＨＩＶとエイズについて「正しく理解していた」と答えた者は１９．８％であり、全国的な認知度は低い。

また、京都市がＨＩＶ検査受検者に検査後に行ったアンケート（令和元年度）では、「検査を受けてＨＩＶや性感染症の予防について、今後実行してみようと思うことがあるか」という問いについて「心配なことがあれば検査を受ける」と答えた者は５９．７％、「特定のパートナーのみと性交渉する」と答えたものは５５．６％であり、検査受検者であっても予防の重要性について十分に浸透しているとは言えない状況である。さらに、近年、若年層の性感染症罹患率が高い状況にある（令和２年度有識者会議資料参照）ことや、新型コロナウイルス感染症の流行により、授業やイベント等で正しい知識を学ぶ機会も減少していることから、正しい知識を得る機会を確保することが重要である。

以上から、若年層を対象とした、ＨＩＶ／エイズ及び性感染症を広く周知することを目的とした啓発活動が必要である。

２ キャンペーン事業（本会議で検討）

１２月１日の世界エイズデーに合わせて発表できるよう、令和３年夏～秋にかけて実施可能な内容の事業を行う。

- （１） 事業の具体例について
- （２） スケジュール
- （３） 評価方法

過去の主な啓発事業例

種別	年月	事業名	内容	実施結果等
街頭イベント	～平成31年12月	世界エイズデー街頭啓発キャンペーン	エイズ啓発パネル展示，啓発グッズの配布，ワークショップ，ステージ等 (場所：京都駅，ゼスト御池，イオンモール等)	1回平均参加者500名程度
	～平成31年10月	AIDS文化フォーラム in 京都	パネル展示，協同講演等	2日間平均参加者1,000名程度
配信型	令和2年12月	啓発キャンペーン動画作成	エイズ啓発動画の作成及び配信	再生回数622回 (令和3年5月31日時点)
	～平成28年	ラジオ放送	FMラジオにて，啓発，検査の案内	
掲示型	毎年6月，12月	地下鉄広告	HIV検査普及週間，世界エイズデーに合わせて京都市地下鉄に啓発ポスターを掲示	
配布型	・随時 ・成人式での配布	パンフレット及び啓発物品配布	市内大学・高校に送付，検査受検者に配布，成人式で配布	※令和2年度 年間15回 2,904名
募集型	平成22年	エイズ啓発キャラクター愛称募集	各学校，図書館，青少年活動センター等にエイズ啓発キャラクターの名称を募集	応募総数1,107件